

テーマ② 新たな通信網（光ファイバ）の整備

（説明者・広瀬情報政策課長）

光ファイバ整備は、市民の利便性の向上、若者定住、地域及び企業の活性化等、将来に展望のある安芸高田市を創出することを目的に行うものです。現在、広島県内23市町のうち、光ファイバ未整備の市町は安芸高田市を含め4市町で、全国的にも8割以上が整備されています（人口比）。

①整備方式
情報通信網は、基本的には幹線・支線を光ファイバで敷設し、一部地域は無線により整備します。

②告知端末
現在使用されている農協有線、防災行政無線の代替機器で、テレビ電話機能付きIP告知端末機器のことを言います。



《「新たな通信網の整備」への質問》

光ファイバとADSLの関係は？

今NTTのADSLでインターネットを利用しているが、光ファイバはそれとは別物なのか？

広瀬情報政策課長

光ファイバは市が安芸高田市全域に整備するものです。NTTが実施しているサービスとは全くの別物です。

整備後の運営会社は？

整備後の運用・管理を専門の業者に委託することだが、その業者はどのような会社か？

広瀬情報政策課長

現在、光ファイバ整備後の運営の委託業者を中国ブロードバンドサービス会社と契約するよう調整を進めています。この会社は、安芸高田市に参入するために、北海道などで導入実績のあるワイコムと京セラコミュニケーションシステムという会社が共同出資して設立したものです。現在、広島市に本社がありますが、運営の開始までに本社を安芸高田市に移し、安芸高田市内からも従業員を雇用する予定など、その会社独自の運営を行ってもらう予定です。

FTTH方式と、FWA方式の違い

光ファイバは、基本的には幹線・支線を光ファイバ網FTTH方式で敷設し、一部地域はFWA方式で整備するとの話だったが、この違いは？

広瀬情報政策課長

基本的には、ほとんどの地域の幹線・支線を光ファイバによって整備します。また、中心部から離れた一部地域は、中継局を設けて、受信機を各世帯の屋外に置いてインターネットやI



③整備期間

平成23年度から平成25年度を計画しています。平成23年度に実施設計、平成24年から工事着手する予定です。工事は、市内を2つに分け、第1工区の吉田町・八千代町・美土里町・高宮町から始め、続いて第2工区の甲田町・向原町を整備していきます。工期は2年間で、平成25年度末の完了を予定しています。

④整備事業費

40億円です。国の補助金や、合併特例債を活用して行う予定です。

⑤整備後の運用・管理

専門の業者に委託する、公設民営とします。

提供するサービス

①行政告知サービス

平常時には、おくやみ放送、行政手続サービス等、各種情報を文字や動画などを添付し分かりやすく提供します。また、災害時等の緊急放



P告知端末を利用する、いわゆる無線で整備します。FTTH方式とFWA方式の違いは、有線か無線かの違いで、サービスに差異はありません。

有線と無線のスピードは？

有線と無線ではネット速度に差が出ると思いますが。

広瀬情報政策課長

光ファイバ網でのインターネットサービスは、基本的に最大で100メガBPS*と設定しています。無線の地域も、それに相当する速度になるように設計しています。

IP告知端末のお金は？

IP告知端末を各世帯に配布する際の個人の負担額はどれくらいか？また、月別の利用料金は発生するの？

広瀬情報政策課長

IP告知端末は現在の有線放送の代替機器として各世帯に配布するものなので、基本的には40億円の事業費の中で整備する計画でいます。設置後の利用料金は、IP告知端末の行政情報等の利用にしましては無料です。ただ、農

送にも対応しています。

②IP電話

テレビ電話機能がついています。市内の告知端末同士の通話は無料です。

③あんしん電話サービス

高齢者や障がいのある方などの一人暮らし世帯を対象に、緊急時の情報伝達等を行います。

④農事放送

現在提供されている農事放送の、音声に加え、文字や画像等を添付して、分かりやすく情報提供します。

⑤VOD行政情報提供

IP告知端末の画面を利用して、行政情報・議会中継・祭りや神楽などのイベント情報等を動画により提供します。

⑥インターネットサービス

超高速のブロードバンド環境を市内全域へ提供します。

⑦IP-IPMM（インターネット回線）サービス

法人向けに高速のインターネット回線を設け、企業誘致や市内企業等への活用を図ります。

光ファイバ整備は、時間的・空間的な制約を克服できるツールとして、活用できる能力は大きなものがあります。今後、各地域で内容等の説明会を行う予定です。

（「新たな通信網（光ファイバ）の整備」に関する）は、広報あきたかた2011年12月号をご参照ください）

事放送等のサービスを利用される場合は、現在のJAの有線放送が月額1,120円だと把握しておりますので、それを下回る価格でご利用いただけるよう調整しています。今後、JA等の関係機関と協議して、利用料金などを調整していきます。

停電した場合はどうなる？

災害発生時は停電も同時に起こりうる。停電になってもIP告知端末は機能するの？

広瀬情報政策課長

現在のIP告知端末機器には、充電器がついておりません。そのため、「JAの有線放送が行っている火災時の出動、緊急放送等」には対応しますが、大規模な災害等で停電が発生した場合は、IP告知端末機器は利用できません。大規模災害時の緊急放送をどうするかが今後の課題だと認識しています。（ただし、数十分程度の停電では、IP告知端末の電源は切れません）

※BPSとは、通信回線などのデータ転送速度の単位のことです。

